

野外炊事の流れ

- ・ 野外炊事の 1 グループは、5 人～8 人が適当です。
- ・ 安全面を考慮し、3 団体 150 人を利用人数の上限の目安とします。
- ※ 炊事場の調整…キャンプ場宿泊団体優先・学校団体優先となるため、150 名を超える場合、本館泊の団体へは変更をお願いする場合があります。(利用の手引き P7 参照)



〈必要な持ち物〉

- ・ 食器類 (お皿・箸・スプーンなど)、純綿軍手
- ・ スポンジ・金たわし・食器洗剤・クレンザー・ふきん
- ・ 新聞紙・マッチまたはライター・うちわ

※ 食材の持込は禁止しております

① 事前打ち合わせ (開始 15 分前)

担当者の方はキャンピングセンター前へお越しください。
職員と打ち合わせを行います。(キャンピングセンター前)

② 職員から説明 (キャンピングセンター前集合) ※全員

道具・場所・安全・野外炊事のコツなど。

③ 実施 役割分担し、下記のものを炊事場に運ぶ。

炊事用具	<p>キャンピングセンター前右側の用具棚にあります。(まとめてお渡しいたします。各団体で班ごとに分けて使用してください) 包丁 (刃物) は、指導者・責任者の方が責任をもって管理してください。用具は塩素消毒してありますので、必ず使う前に水洗いしてください。持ち込み物品も消毒してからの利用となりますので、職員にお渡しください。</p> <p>※鍋・飯ごうの裏底と周りに水で溶いたクレンザーを塗っておくと、すずが落ちやすくなります。</p>
食材	<p>キャンピングセンター前の食材置き場の棚にあります。</p> <p>朝食食材はキャンピングセンターにて受け渡し。朝食食材の受け渡し時間 (6:20～6:30) に間に合わなかった場合→①キャンプ場職員がいる場合は、キャンピングセンターで受け渡し。②キャンプ場職員がいない場合は、本館玄関にて宿直職員が受け渡します。</p> <p>アルコールをご注文いただいている団体は、申込書にご記入いただいた時間に食堂へ取りに行ってください。飲酒可能時間と場所を必ず守ってください。</p> <p>(アルコール類の持込は禁止しています)</p> <p>※飲酒可能時間：片付け含め 17:30～22:00 飲酒可能場所：食事広場・炊事場</p>
薪	<p>薪小屋から運んでください。カレー・バーベキューでは、1 班 1 束程度が目安です。使用した数は必ず職員に連絡してください (開梱した場合、返却はできません。開梱した時点で 1 束となりますのでご注意ください)</p> <p>(コンロは炊事場、食事広場でのみ使用できます。テント・バンガロー周辺は火気厳禁です)</p>

④ 食事のとれる場所

食事広場（最大 192 名/雨天時使用できない場合有り）

炊事場（約 80 名）・避難所（約 60 名）・せせらぎ広場（雨天時使用不可）



⑤ 片付け

チェックポイント		
ゴミ	<p>食堂で食材を提供した場合</p> <p>指定のゴミ袋に生ゴミ・燃えるゴミを入れて所定の場所に捨ててください。</p>	
	<p>紙皿など持ち込みゴミ</p> <p>ゴミ袋をご購入いただき、分別を行ったゴミに限り所定のゴミ置き場に捨てることができます。それ以外は持ち帰りとなります。</p>	
	<p>●生ゴミはビニール袋に入れ、口をしぼって青いポリバケツの中に、入れてください。</p> <p>●燃えるゴミ・その他のゴミは木の箱に入れてください。</p>	
炊事用具	<p>●炊事用具は汚れをよく洗い流してください。取っ手やフタなども洗ってください。</p> <p>●中のよごれ（焦げつきや米粒）と外のすすを落としてください。</p> <p>●ふきんで水気を取ってください。</p> <p>●包丁は責任者が管理し、職員に確実に手渡しで返却してください。</p>	
	<p>鉄板・フライパン</p> <p>・汚れやススを洗い落としてください。</p> <p>・表面・裏面・取っ手（鉄板のみ）に油を塗ってください。</p>	
	<p>めん板・めん棒</p> <p>・こびりついた粉はフライ返しで削り落としてください。</p> <p>・水洗いしないで下さい。</p>	
流し場	<p>●流し場の生ゴミや汚れを落としてください。</p> <p>●網に残った生ゴミを集めて生ゴミといっしょに捨ててください。</p> <p>※新聞紙（1 枚）を下に広げ、網を取り出し、逆さにするとごみが取れます。</p>	
かまじ	<p>●薪はできるだけ燃え切らせ、灰にしてから焼却炉に捨ててください。</p> <p>※どうしても燃え切らなかった薪や焦げてしまった薪は、水につけて完全に消火し、焼却炉前の缶の中に捨ててください。</p> <p>●かまどには水をかけないでください。</p> <p>●かまどの上や中、周辺の炭と灰をほうきで掃き出してください。</p>	
その他	<p>●ご飯の保温ケースには 1/3 程度水を入れておいてください。</p> <p>●調理テーブルおよび食事広場のテーブルの上を台ふきんで拭いてください。</p> <p>●床をほうきで掃いてください。</p>	

⑥ 点検

引率者が上記片付けの項目を確認し、その後本館事務室（内線 71 番）へ連絡し、職員を呼んでください。当所職員が引率者立ち会いのもと、点検します。

キャンプファイアの流れ

- キャンプファイア場は、第1ファイア場(150人)、第2ファイア場(100人)、つどいの広場(80人)、せせらぎ広場(30人)の4カ所です。()内は目安の人数です。

① 打ち合わせ **15:30~** キャンプファイア準備・片付けの説明を第1ファイア場で行います。

② 準備

(1) 材料(丸太12本、せご板3束、灯油2缶)

- ・ 丸太・せご板は第1ファイア場の小屋から一輪車で運んでください。
- ・ 灯油は、危険物ですので使用の直前に本館受付窓口へ取りに来てください。
- ・ ファイアロード等で空き缶やおがくずを利用する団体は申し出てください。第1ファイア場そばの小屋にあります。
- ・ **トーチは事前に各団体で用意し、ご持参ください。**
(当所では、トーチの貸出や販売は行っておりません)

(2) 緊急消火用水確認

- ・ 緊急消火用バケツに水が入っているかを確認してください。
無い場合にはファイア場の水道で汲んでおいてください。

(3) 延長コード・電源ボックスの鍵など

貸し出しは受付窓口です。



③ 実施

④ 片付け

(1) ファイア終了直後

- ・ 丸太を崩して中央に寄せて下さい。
フードをかぶせ、L字型鉄製カバーをフード側面から20cmほど離してセットしてください。
薪を燃やしきるので、水はかけないでください。
- ・ 放送機器、灯油の容器を本館事務室へ戻してください。
(灯油は残っていても、空でも戻す)
- ・ ファイアロードの缶とおがくずを片付けてください。
(翌朝でも可、但し消火確認は必ず行ってください。)
- ・ 電源BOXの外灯スイッチをOFFにした場合はONにしてください。

(2) 21:30頃

- ・ 団体指導者は火の点検をし、L字型鉄製カバーをすき間なくフードにつけてください。
- ・ ファイア終了を、本館事務室の宿直職員に報告してください。(内線71番)



(3) 翌朝

- ・ 団体指導者は朝食までにファイアの片付けをしてください。
 - ① フード、カバーを取り、元の場所に戻してください。
 - ② 灰、燃え残りの炭はスコップ等(小屋にあります)を使い、一輪車に乗せ、灰や炭は第1ファイア場脇の凹の字型のブロック内に置いてください。トーチなどで使用した針金は缶の中に捨ててください。
 - ③ 火床の清掃、ファイア場のゴミ拾いをしてください。
 - ④ 片付けに使用した用具を元の場所に戻してください。
 - ⑤ 片付けの終了を本館事務室へ報告してください。(内線71番)



※灰などには、一切水をかけないでください。